

特色のあるため池の紹介

名 称		所 在 地	
べんてんいけ（うちはらのいけ） 弁天池（内原野池）		あき 高知県安芸市	
貯 水 量	受益面積	堤 高	堤 頂 長
88.6千m ³	16.2ha	9.4m	340m

ため池の紹介文

弁天池（内原野池）は、1673年～1680年ごろ、新田の開発をすすめるため、土佐藩山内家家老である五藤氏により築かれたとされています。平成21年度に農林水産省のため池百選に選定されました。池の中にある小島に弁天様が祀られており、弁天池の名称で親しまれています。

弁天池に隣接する丘陵地3haには、つつじ、あやめ、しょうぶ等の花木約15,000本が植えられ、つつじまつりが開かれる春の開花時期には、多くの観光客でにぎわいを見せます。また、ため池ではボートを借りることもでき、湖面にボートを浮かべ、のんびり過ごすこともできます。

弁天池を含む一帯は、元々殿様の野外遊場であり、現在は内原野公園と呼ばれています。周囲には、五藤氏が土佐藩に願い出て始めたと言われる内原野焼きや、茅葺平屋建ての殿様用の休憩施設「延寿亭」が現存しており、土佐山内家の歴史を垣間見ることができます。

また弁天池は、現在も安芸市の農地16.2haを潤しており、なす、ピーマンなどが特産品である安芸市の農業に欠かせない水源池として利用されています。

ため池の写真



ため池百選(弁天池)

(http://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/tameike/pdf/3901_benten.pdf)

推薦理由

高知県にあるため池は、山間部の谷を埋め立てた、いわゆる谷池が多く、受益者以外の人にはあまり興味を持ってもらえない、農業水利施設としての役割が強いため池がほとんどですが、今回紹介する弁天池については、観光資源や住民の憩いの場としての役割を果たしている池となっています。

また、周囲には、内原野焼き、延寿亭等、土佐山内家の歴史を振り返る事の出来る焼き物、建物も残っており、ため池の多面性、ため池を含んだ地域の歴史を紹介することが出来ると考え、推薦させていただきました。

※延寿亭：弁天池に隣接する丘陵地頂上付近にある殿様が休憩する際に使用した茅葺平屋建ての建物

※内原野焼き：五藤家が土佐藩に願い出て、1820年ごろ京都から陶工を招き焼き始めたという、雑器、壺、徳利、摺鉢など、生活に密着した焼き物。